

がんを光らせ可視化する  
実験に成功した研究チーム



# ひと

東京大学や九州大病院別府病院などと連携して、スプレー型の試薬で人の乳がん細胞を光らせ、可視化する実験に世界で初めて成功。論文が今月、英科学誌に掲載された。実用化されれば、手術中に吹き掛けることで、数ミリの単位のがんを見つけて切除できるようになり、再発リスクを抑えると期待されている。

研究は九大病院別府病院の大学院生だった2012年から2年

## 再発リスクの抑止に期待

間、うえお乳腺外科（大分市）で手術中に切除した検体で行った。「新しい分野の研究なので試行錯誤を重ねた。一緒に研究した関係者の協力で論文にまとめることができた。乳がんが有効性を示せたので、他の臓器などへの応用につなげていければ」と話す。

高校時代は海洋生物を研究する学者を目指して水産学部への進学を考えた時期もあったが、外科医である父親と同じ医学の道を志した。現在は九大病院の乳腺外科医として臨床の最前線に立つ。「将来は大分に戻り、患者の笑顔を取り戻せる外科医として、がんの根治を目指す研究医として頑張りたい」と意欲を燃やす。

休日は友人とサッカーやフットサルをして汗を流す。めじろんと大分トリニータを愛する根っからの大分っ子。「前身のトリニティの時から応援している。頑張っほしい」とエールを送る。福岡市内で妻と暮らす。（小田原大周）